



名古屋市 子ども・若者総合相談センターの 取り組みについて

センター長 渡辺 ゆりか



ごあいさつ



当センターは、子ども・若者を対象とした相談のワンストップサービスセンターとして、開設しており、ニート、ひきこもりなど、社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者の相談を行い、その子ども・若者の状況に応じた支援機関へつなぎます。

また、様々な困難を抱える子ども・若者を支援する官民の支援機関、団体で構築するネットワークの核となり、ネットワークの中で、その子ども・若者の状況に応じた適切な支援が行われ、最終的には自立できるようになるまで見届ける役割を担います。

待つだけではなく、相談がしたくてもできない人のそばまで近づいていく—

名古屋地域で、既に多様なアプローチで支援を続けている様々な団体や機関とつながり、やわらかく、しなやかなネットワークを編んでいく—

社会に押し出す、引っ張り出すのではなく、足場を一步一步踏み固めながら、その人のペースで進むことによりそう—

誰もが人とのつながりや、役立ちを感じられる社会を目指して、
誰もがありのままを認められる暮らしの中で、ひとりひとりの小さな一步を応援するセンターとなれるよう、全力を尽くしてまいります。

子ども・若者総合相談センター概要

◆開所日：月～土（祝祭日除く）

◆開所時間：10時～17時 ◆休業日：日・祝祭日

◆職員体制◆

◇常勤5名 非常勤4名

* 精神保健福祉士 * 社会福祉士 * 産業カウンセラー
* キャリアコンサルタント * 教員

◇専門家

* 臨床心理士（3名） * 精神科医（1名）

相談
ダイヤル



052-961-2544



kiku@cowaka.net

◆相談の流れ

名古屋市
子ども・若者
総合相談センター

◆対象◆

概ね39歳までの
名古屋市内在住の方

訪問
相談

来所
相談

職員面談
＋専門家面談
による
プランニング

ご本人/ご家族

相談員

民間支援団体・公的支援機関への協力依頼

同行

医療

就労

居場所

生活

学校

子ども・若者総合相談センター実績

開所 H26.4/1～H27.3/31まで 実績

◆ 新規 登録件数

311人:1か月平均:25.9人

◆ のべ相談件数(面談・電話・メール等)

4,261件:1か月平均355.1件

◆ 訪問相談(アウトリーチ)

391件:1か月平均32.6件

増加
傾向

センターに訪れる
子ども・若者



困難を抱えた
子ども・若者

非行

OR

不登校

ニート（未就労・未就学）状態
引きこもり状態

長期化

家族・社会からの孤立

10代

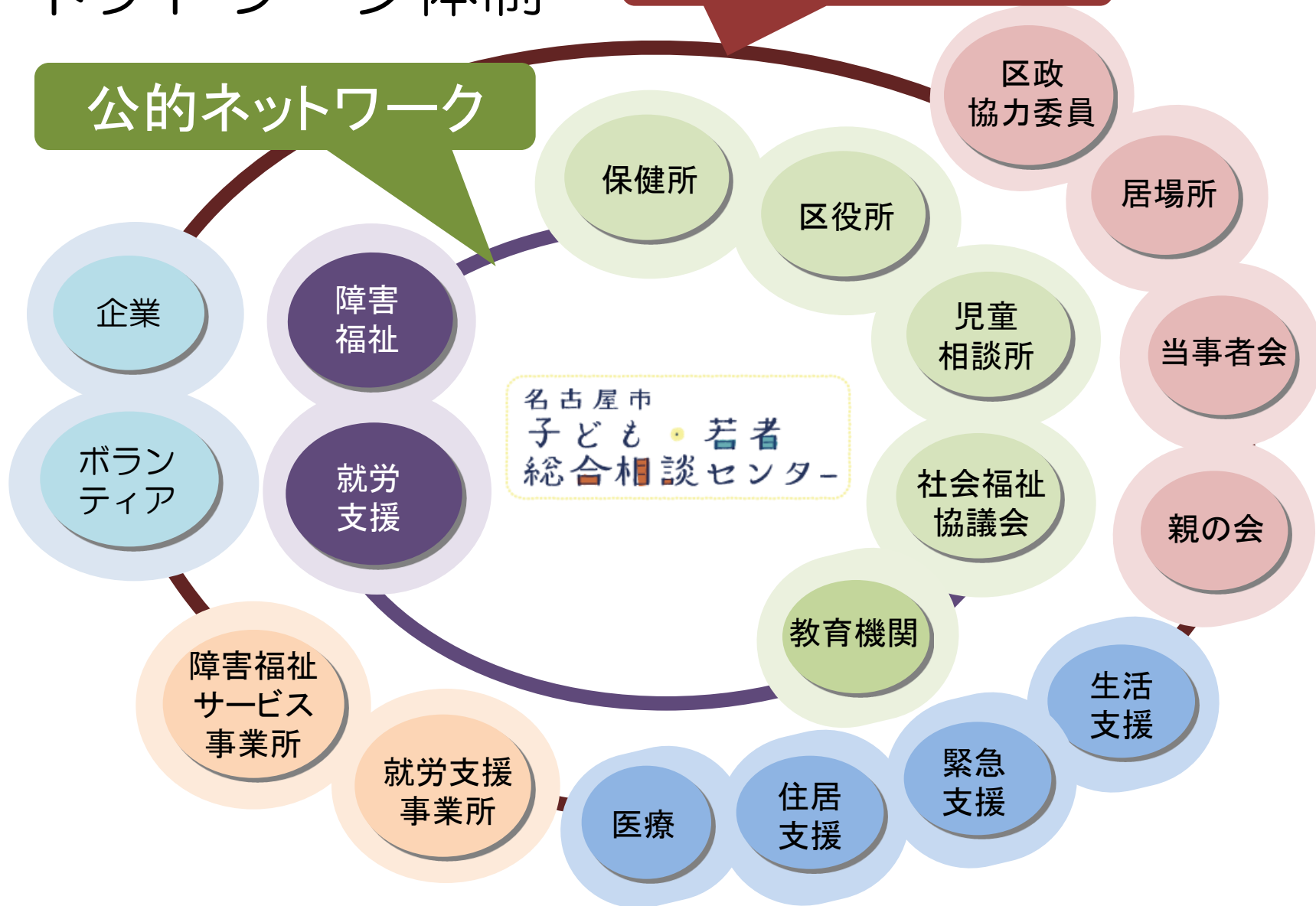
20代

30代

ネットワーク体制

地域ネットワーク

公的ネットワーク



官民をこえた、多様な地域ネットワーク

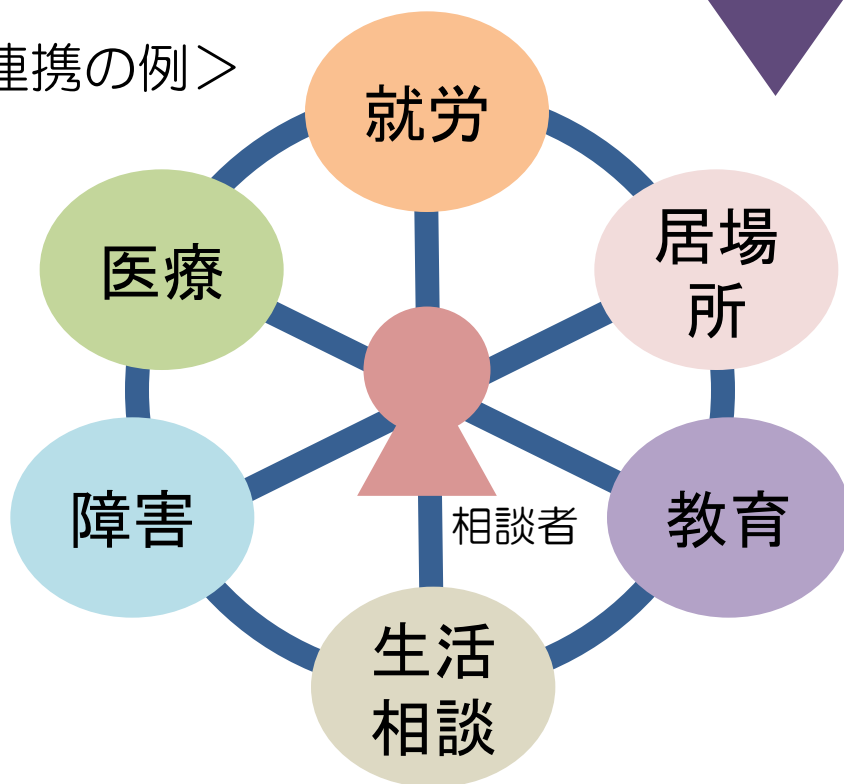
◆相談者の6割以上が、 重複した困りごとを抱えている。

例) 不登校＋発達障害＋親子関係＋暴力・犯罪

例) 引きこもり＋人間関係の悩み＋就労の悩み＋お金の悩み



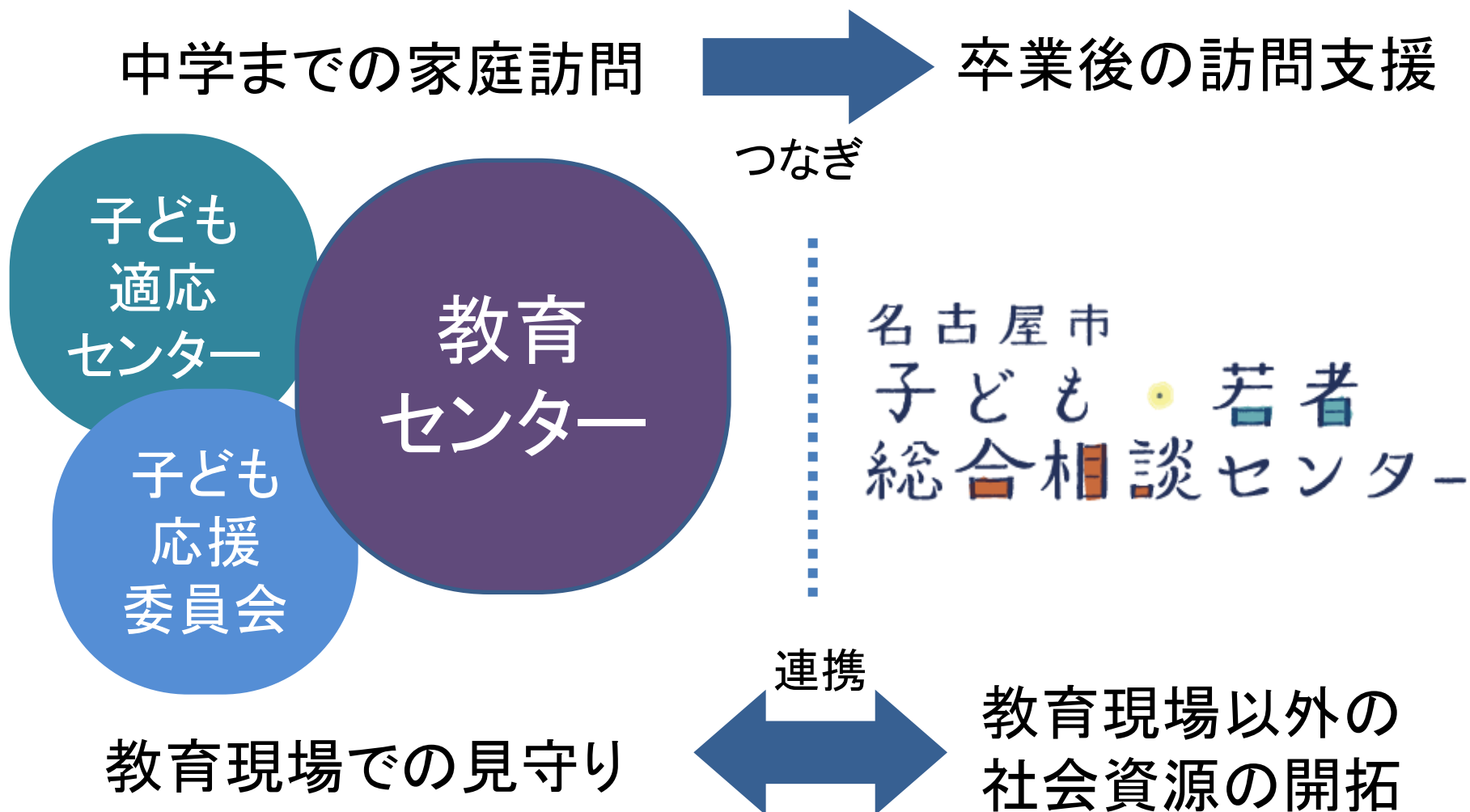
＜連携の例＞



複数同時の悩みには、
複数同時の支援が必要

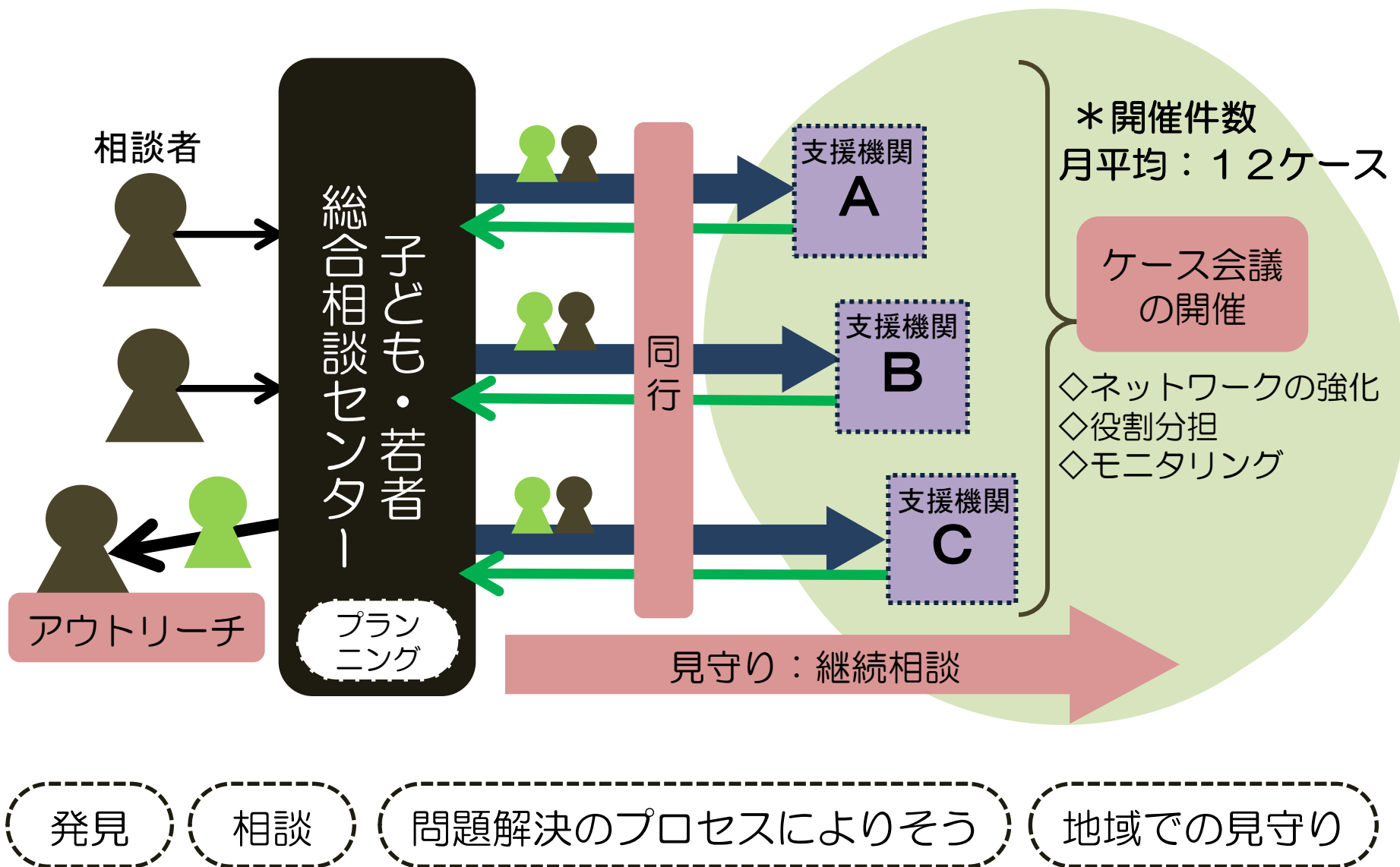
地域での
多分野連携
による
支援が重要

教育機関との連携とつなぎ支援

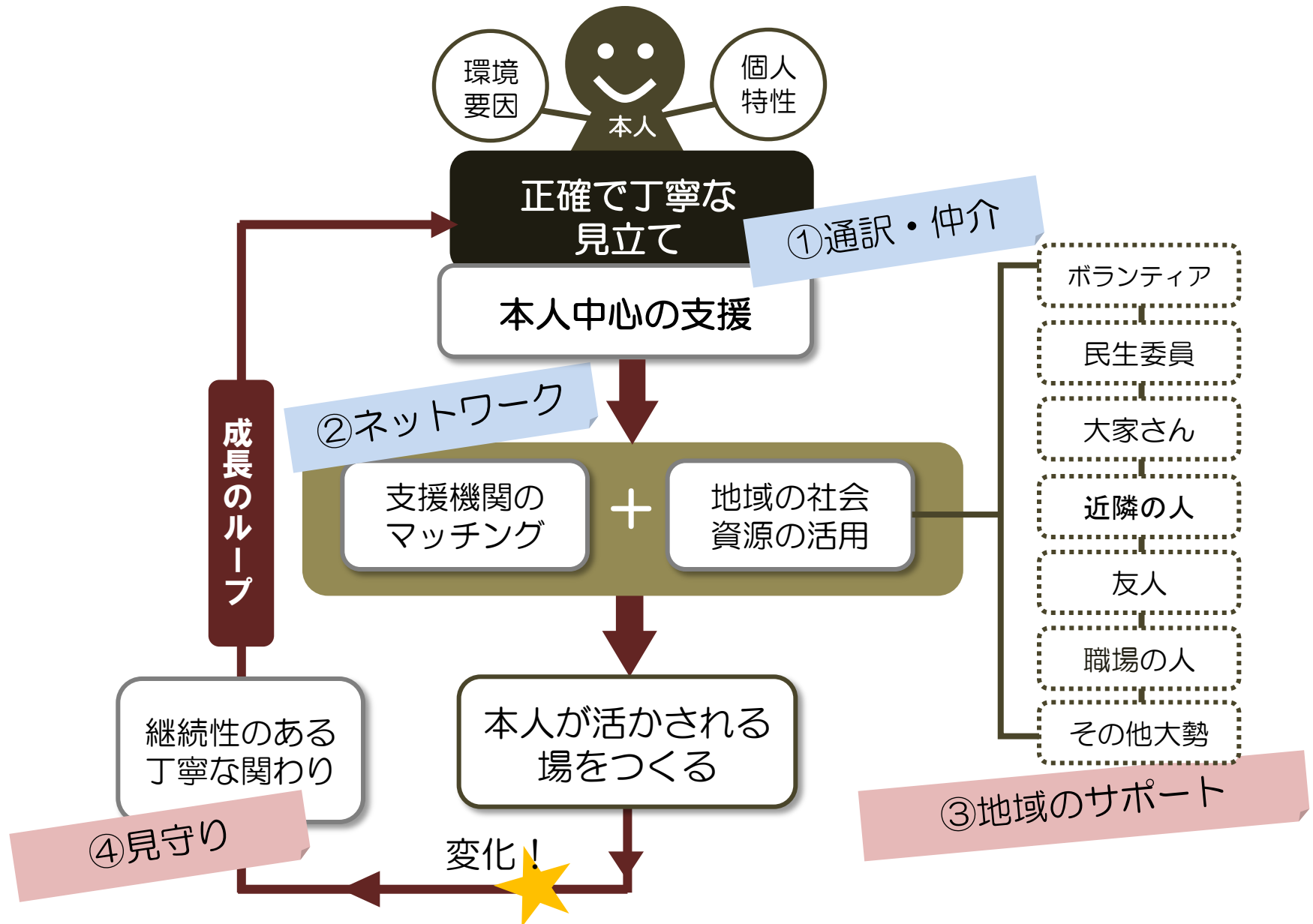


在学中には「連携」しながら生徒を支え、卒業後は継ぎ目をつくらず社会資源に「つなげる」ことで、家庭や本人の孤立から守り、将来のリスクを軽減する。

子ども・若者総合相談センターの相談支援体制



子ども・若者総合相談センターの成功事例における分析

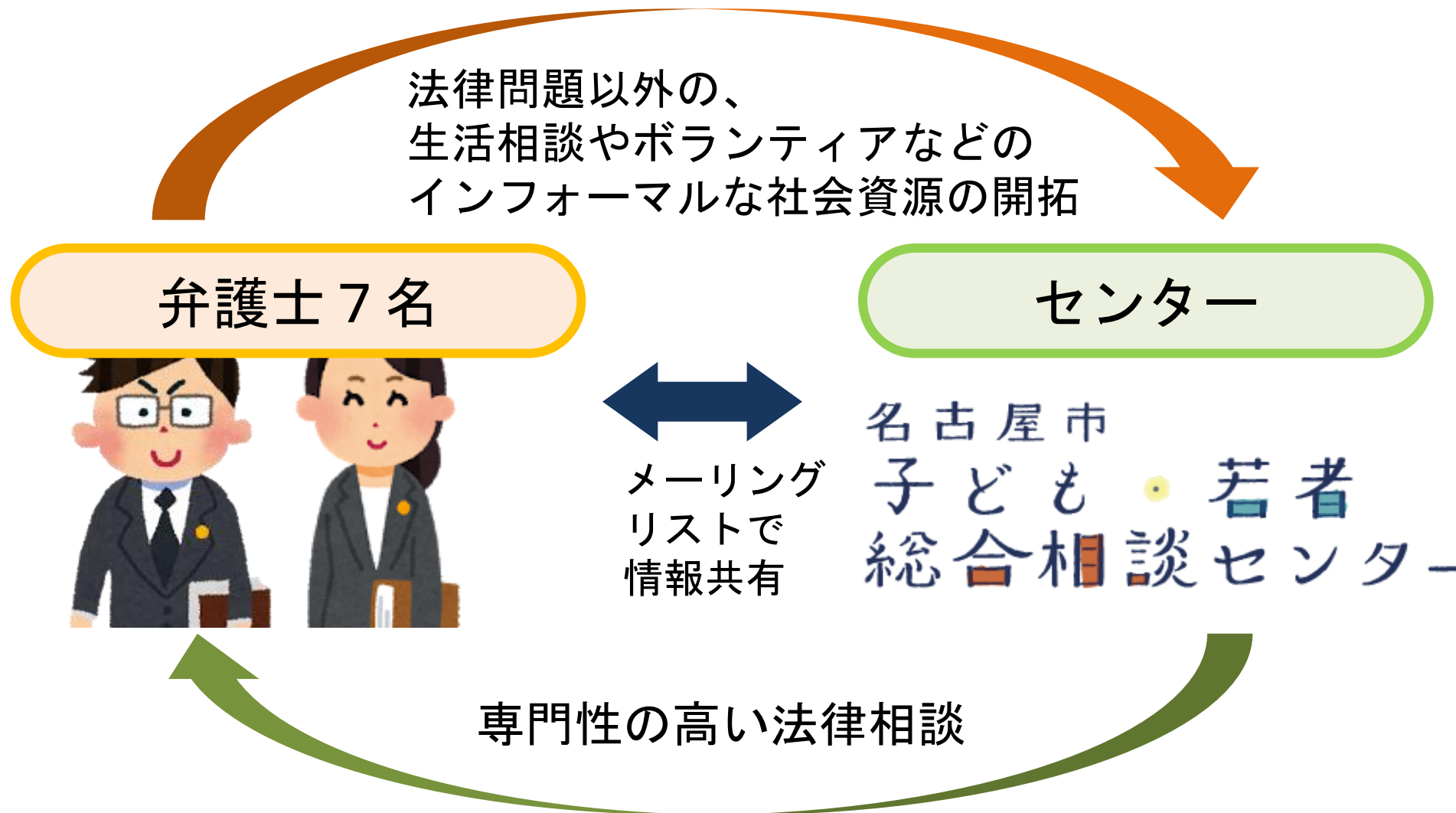


◇各専門分野の協力者・アドバイザー

専門分野	内容
法律	「子どもの権利」を専門とした弁護士団（7名）
発達障害	発達障害の当時者・専門家などの相談＆対処法のアドバイス
虐待・DV	専門員によるスーパーバイズ
金銭・家計管理	ファイナンシャルプランナーによる個別アドバイス
アディクション	アルコール依存・薬物依存・ギャンブル依存へのスーパーバイズ
学習	学び直し、学習サポート
スポーツ	空手、ハンドテニス、ハンドボールなど
目標設定	人生や将来の目標設定のためのワーク
同行・訪問 ボランティア	子ども・若者総合相談センター職員に同行して家庭訪問をするボランティアチーム

協力してくださる方や専門領域が徐々に増えています！

子ども・若者総合相談センター7人の弁護士団



◇8名の相談者を連携により解決◇

ちょっとした小さな支えが届くことで、困難からなかなか抜け出せない子どもと若者の今と未来を良い方向に変えることができます。あなたの力を少しだけ、お貸しください

なごや子ども・若者総合相談センター サポーター

家庭訪問

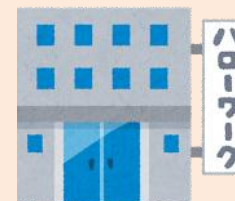


不登校・引きこもりの
子ども・若者の家庭等
を継続的に訪問し、
相談者の状況に応じた
働きかけ・交流・余暇・
外出の支援を行います。

同行支援



支援機関、病院、行政
手続きに同行して援助を行います。

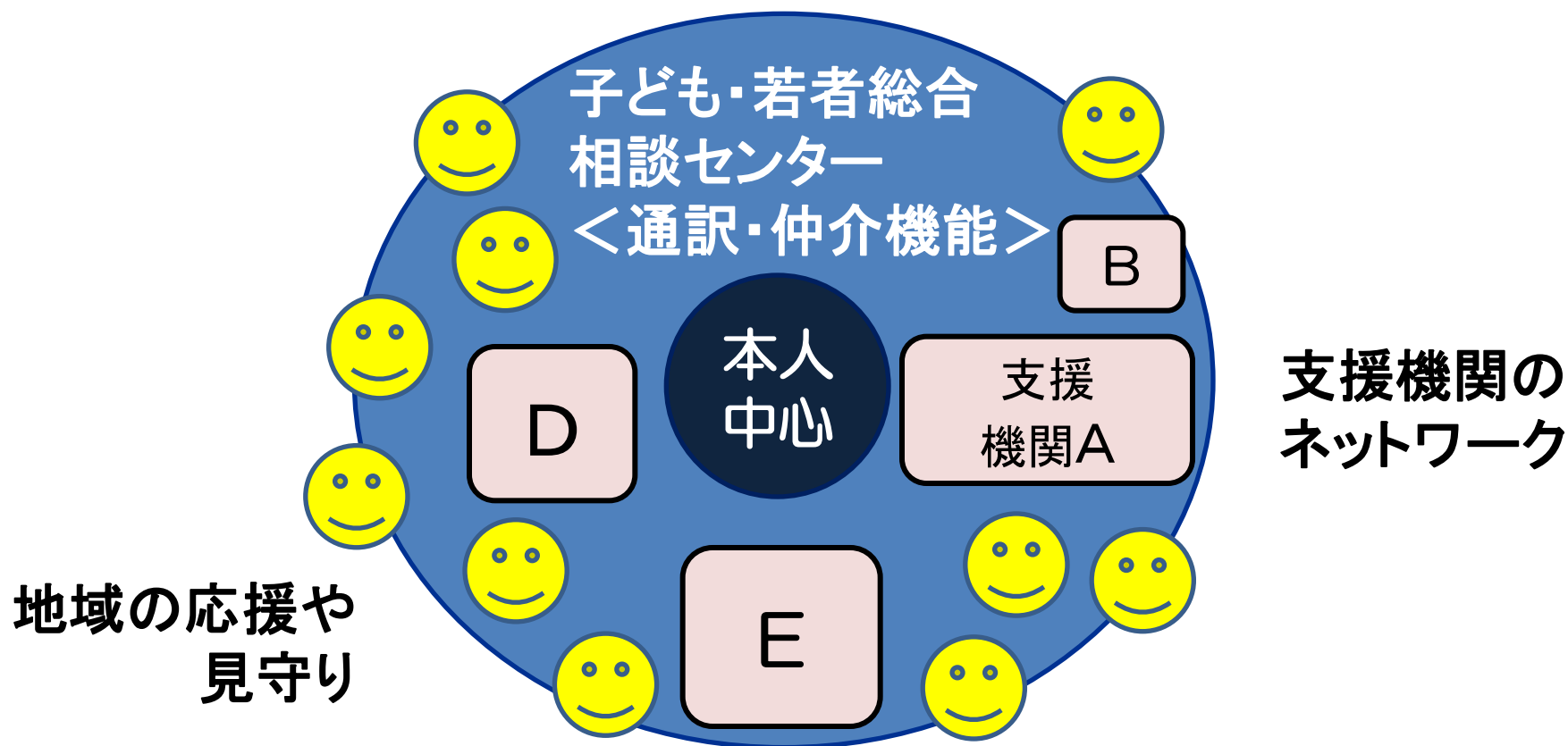


第一期
サポーター
募集！

6月20日(土)ガイダンススタート！定員：30名程度

市民のインフォーマルな力を、困難を抱えた若者に届ける取組み

子ども・若者総合相談センターの役割



本人を支える応援団が
常にまわりにいる状態をつくる支援

◎自死遺族の私立高校不登校:10代女性◎

→ 継続面談 → 工作など(遊び) → 外出支援
→ 家族へのアプローチ → 学校連携 → 復学

◎中学卒後ニート状態1年:10代男性◎

家族との面談 → 病院機関との連携
継続面談 → 公園で遊ぶ → デイサービスの利用

◎住居のない犯罪少年:20代男性◎

住居支援 → 行政・福祉サービス → ボランティア
の見守りサポート → 勉強開始 → 就労

◎ほとんど家を出ず引きこもり10年:20代男性◎

家庭訪問 → 各種行政機関との連携(ケース会議)
→ 家族支援 → 美容師 → 医療機関連携 → 外出

◎中学卒・非行→就労先を短期で離職→触法
→家族との絶縁→寮でのトラブル→若年ホームレス

多分野(11分野)の支援機関連携によるサポート
→住居や生活の支援→発達障害の受診→高校進学

◎中学校不登校→通信制高校不登校→退学
引きこもり→自傷行為→家族への暴力

学童の指導員等に本人の聞き取り→キャッチボール
居場所の紹介→復学への意欲→フリースクール見学

◎フリースクール中退→引きこもり→就労失敗
→再引きこもり→自傷行為→医療の未受診

お手紙や家庭訪問での、関係性の構築
→ブログや料理に挑戦→自己肯定感→医療や居場所の同行



おわりに

- 皆様の活動の中で、就労ことや、不登校、ひきこもりなどで相談を受けていたり、身近にこうしたお困りごとを抱えている方がみえましたら、子ども・若者総合相談センターをご紹介いただきたいと思います。
- 少しでも早く、支援機関や地域への応援につながることで、問題の解決、そして自立に向かう近道と考えています。皆様のご協力を是非ともよろしくお願いいたします

相談
ダイヤル



052-961-2544



kiku@cowaka.net